

令和2年度 e・アンケートモニター
第2回アンケートNo.2 調査結果
テーマ「プラスチック製買物袋の有料化について」

I 調査の概要

1 調査の目的

プラスチック製買物袋（以下「レジ袋」という。）に使われるプラスチックは便利な素材ですが、一方で、ポイ捨てされたプラスチックごみは、一部が海に流出し、生態系を含めた海洋環境への影響が懸念されています。

山口県では、平成21年から、消費者団体・事業者・行政から構成される「山口県容器包装廃棄物削減推進協議会」において、容器包装廃棄物の削減に取り組むため、レジ袋の無料配布中止の取組を行っています。

また、令和2年7月からは、全国一律でレジ袋の有料化が開始されるなど、プラスチックごみの削減につながる取組が広がっています。

そのため、本アンケートは、今後、山口県において、レジ袋などの容器包装廃棄物の削減を推進していくための基礎資料として御意見を伺うものです。

2 調査実施期間

令和2年8月14日（金）～8月28日（金）

3 調査対象

令和2年度e・アンケートモニター 120人

4 回答状況

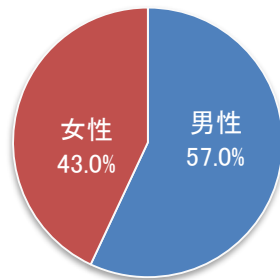
回答者 86人（回答率 71.7%）

5 調査担当課

山口県環境生活部廃棄物・リサイクル対策課

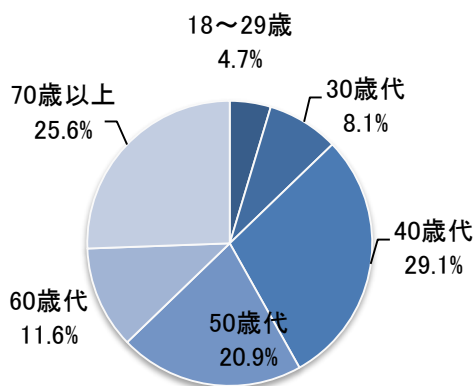
II 回答者の属性

■性別



区分	人数	%
男性	49	57.0
女性	37	43.0
計	86	100.0

■年代別



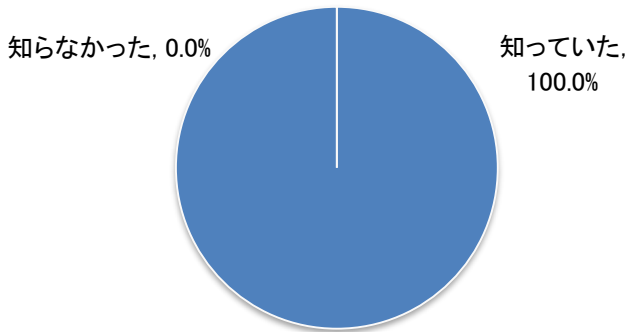
区分	人数	%
18～29歳	4	4.7
30歳代	7	8.1
40歳代	25	29.1
50歳代	18	20.9
60歳代	10	11.6
70歳以上	22	25.6
計	86	100.0

※「回答者の属性」、「調査結果」の各グラフ及び各表中に示した数値は小数点第2位を四捨五入しているため、全項目の合計が100.0%とならない場合があります。

Ⅲ 調査結果

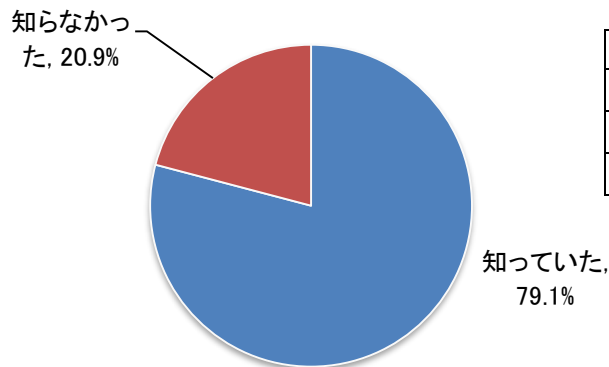
【レジ袋の有料化について】

Q1 あなたは、令和2年7月から、スーパーやコンビニエンスストアなどのすべての小売業者において、全国一律で、プラスチック製買物袋（以下「レジ袋」という。）の有料化が義務化されたことを知っていましたか。（1つのみ）



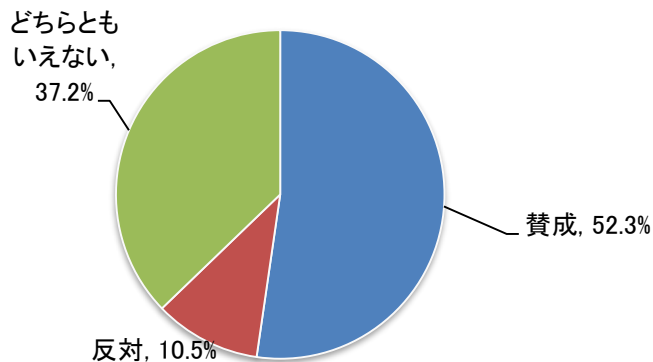
選択肢	人数	%
知っていた	86	100.0
知らなかった	0	0.0
計	86	100.0

Q2 県では、平成21年4月から、県内の一部の店舗において、レジ袋有料化の取組を先行して行っていました。あなたは、このことを知っていましたか。（1つのみ）



選択肢	人数	%
知っていた	68	79.1
知らなかった	18	20.9
計	86	100.0

Q3 あなたは、レジ袋の有料化について、どのようにお考えですか。（1つのみ）

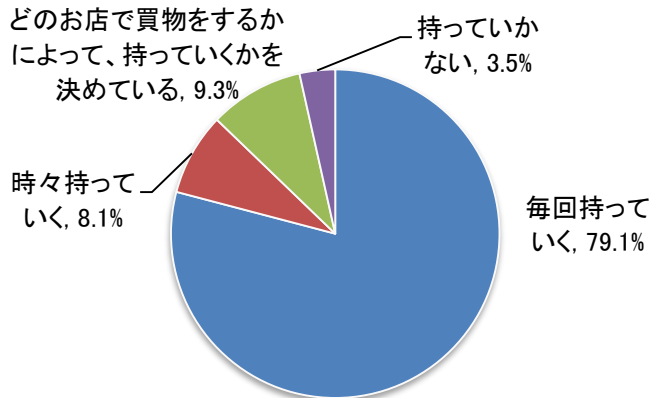


選択肢	人数	%
賛成	45	52.3
反対	9	10.5
どちらともいえない	32	37.2
わからない	0	0.0
計	86	100.0

Q 4 【Q3で「賛成」、「反対」と回答された方】
理由を記入してください。(全角200字以内)

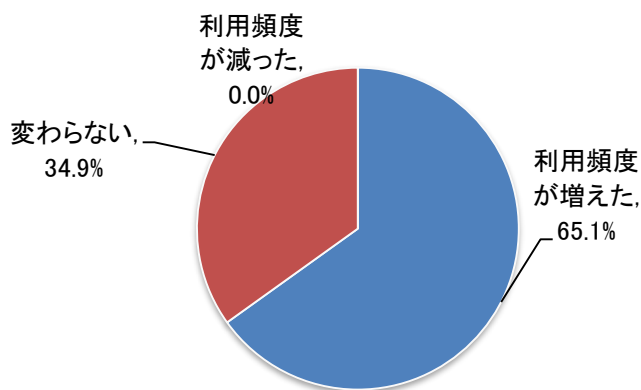
省略

Q 5 あなたは、普段、買物をする際に、マイバッグを持っていますか。(1つのみ)



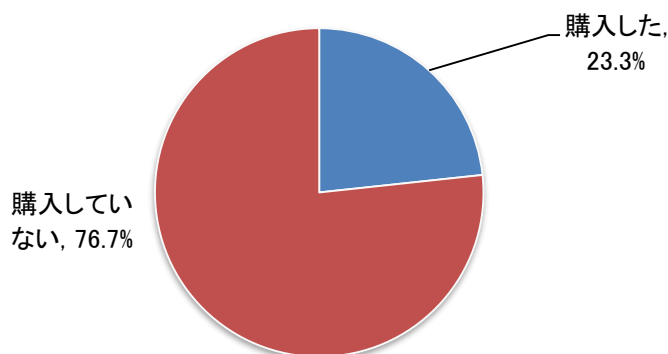
選択肢	人数	%
毎回持っていく	68	79.1
時々持っていく	7	8.1
どのお店で買物をするかによって、持っていくかを決めている	8	9.3
持っていない	3	3.5
計	86	100.0

Q 6 あなたは、レジ袋の有料化により、マイバッグの利用頻度に変化がありましたか。(1つのみ)



選択肢	人数	%
利用頻度が増えた	56	65.1
変わらない	30	34.9
利用頻度が減った	0	0.0
計	86	100.0

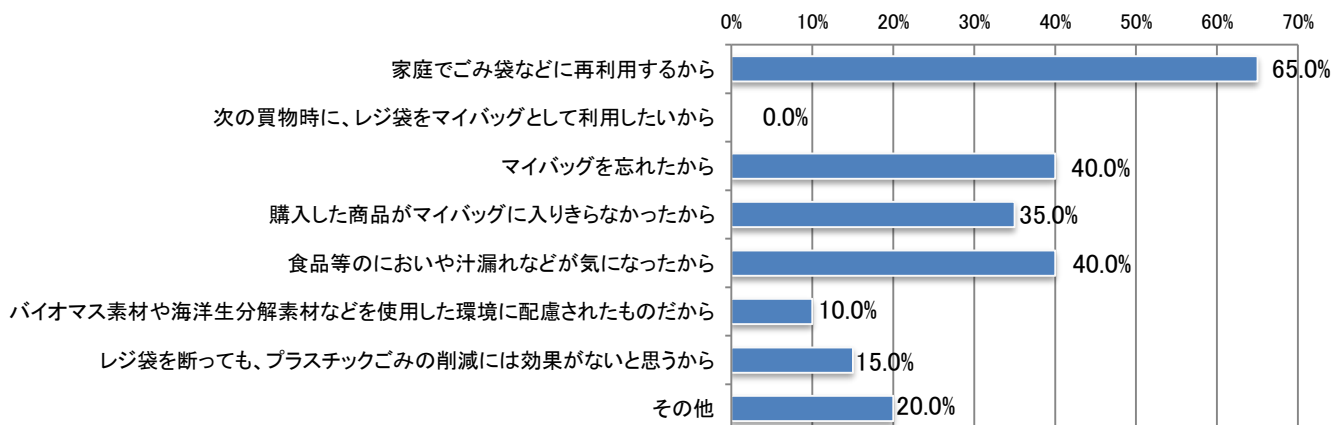
Q 7 あなたは、直近の1週間において、レジ袋を有料で購入しましたか。(1つのみ)



選択肢	人数	%
購入した	20	23.3
購入していない	66	76.7
計	86	100.0

Q8 【Q7で「購入した」と回答された方】

レジ袋を有料で購入した理由について、教えてください。(いくつでも)

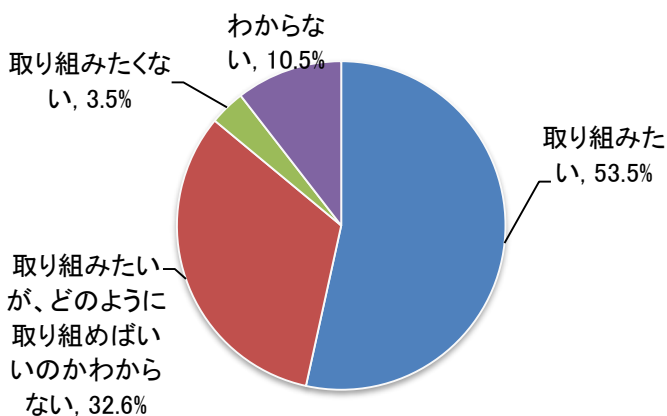


(n = 20)

選択肢	人数	%
家庭でゴミ袋などに再利用するから	13	65.0
次の買物時に、レジ袋をマイバッグとして利用したいから	0	0.0
マイバッグを忘れたから	8	40.0
購入した商品がマイバッグに入りきらなかったから	7	35.0
食品等のおい汁漏れなどが気になったから	8	40.0
バイオマス素材や海洋生分解素材などを使用した環境に配慮されたものだから	2	10.0
レジ袋を断っても、プラスチックごみの削減には効果がないと思うから。	3	15.0
その他	4	20.0

Q9 今回開始された全国一律でのレジ袋有料化は、レジ袋によるプラスチックごみの排出抑制を促すだけでなく、マイバッグ等を活用して、不必要な使い捨てプラスチックの使用をできる限り削減するなど、プラスチックごみの削減に向けて、消費者のライフスタイルの変革を促すことも目的とされています。

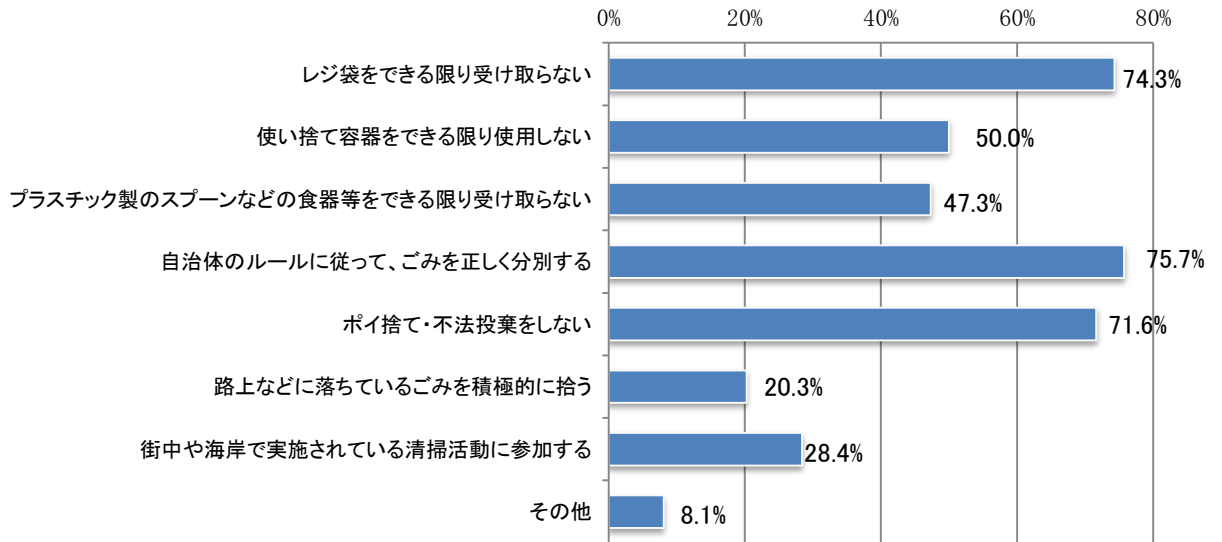
あなたは、この有料化をきっかけに、プラスチックごみの削減に向けて、何か取り組みたいと思いますか。(1つのみ)



選択肢	人数	%
取り組みたい	46	53.5
取り組みたいが、どのように取り組めばいいのかわからない	28	32.6
取り組みたくない	3	3.5
わからない	9	10.5
計	86	100.1

Q10 【Q9で「取り組みたい」、「取り組みたいが、どのように取り組めばいいのかわからない」と回答した方】

あなたは、どのような取組を行いたいと思いますか。(いくつでも)

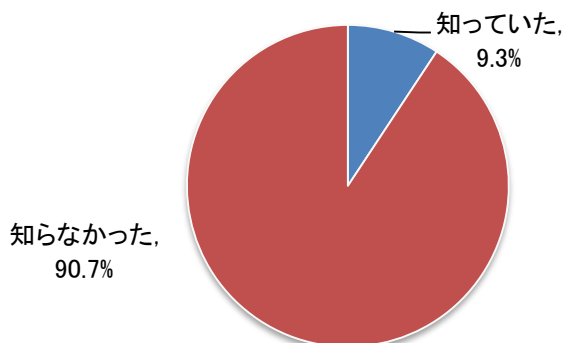


(n = 74)

選択肢	人数	%
レジ袋をできる限り受け取らない	55	74.3
使い捨て容器をできる限り使用しない	37	50.0
プラスチック製のスプーンなどの食器等をできる限り受け取らない	35	47.3
自治体のルールに従って、ごみを正しく分別する	56	75.7
ポイ捨て・不法投棄をしない	53	71.6
路上などに落ちているごみを積極的に拾う	15	20.3
街中や海岸で実施されている清掃活動に参加する	21	28.4
その他	6	8.1

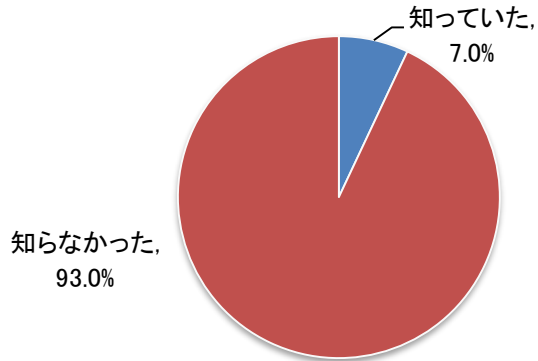
【容器包装廃棄物の削減に向けた取組について】

Q11 県では、レジ袋や食品トレーなどの使用による容器包装廃棄物の削減を推進するため、平成20年に、消費者団体、事業者、行政から構成される「山口県容器包装廃棄物削減推進協議会」を設立し、(県独自で)レジ袋の無料配布中止を行うなどの取組を行ってきました。あなたは、「山口県容器包装廃棄物削減推進協議会(以下「協議会」という。)」を知っていましたか。(1つのみ)



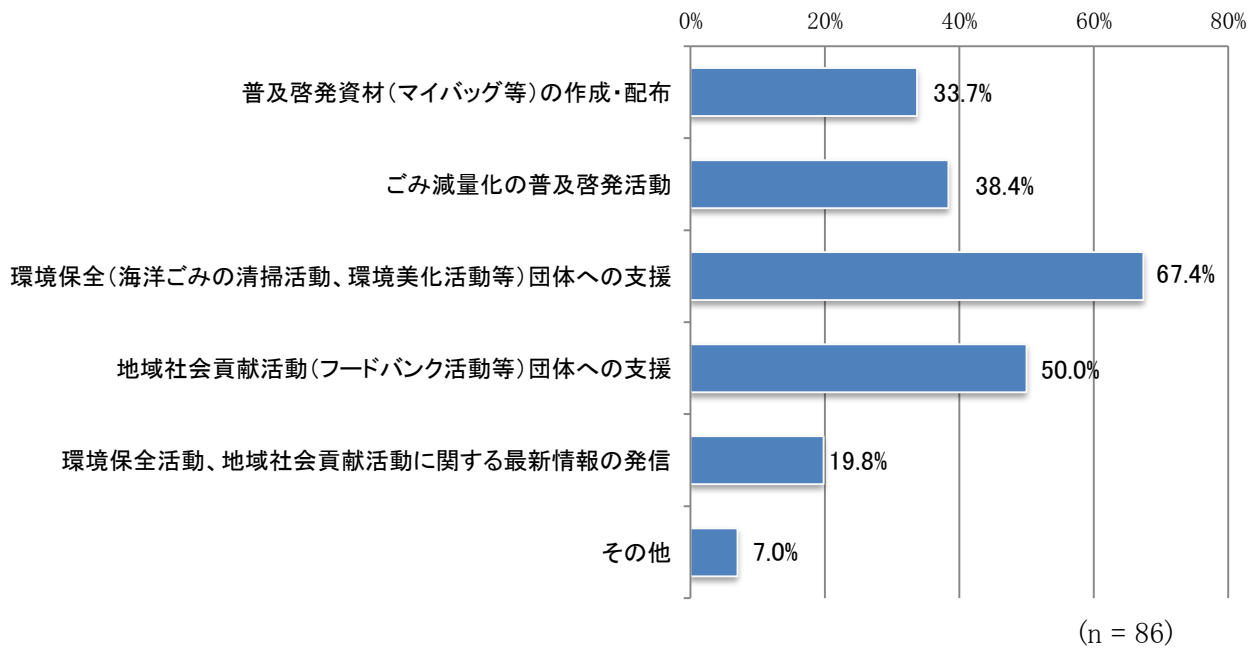
選択肢	人数	%
知っていた	8	9.3
知らなかった	78	90.7
計	86	100.0

Q12 協議会では、「レジ袋収益金活用基金」を設置し、レジ袋の販売により生じる売上金について、事業者からの寄付を受け付け、容器包装廃棄物の削減に向けた普及啓発（マイバッグやチラシ、ポスターの作成・配布）などに活用しています。
あなたは、「レジ袋収益金活用基金」を知っていましたか。（1つのみ）



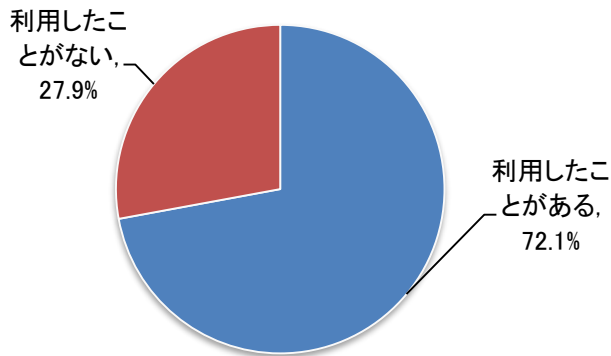
選択肢	人数	%
知っていた	6	7.0
知らなかった	80	93.0
計	86	100.0

Q13 あなたは、上記Q12の質問文中の「レジ袋収益金活用基金」について、どのように活用されることを希望しますか。（3つまで）



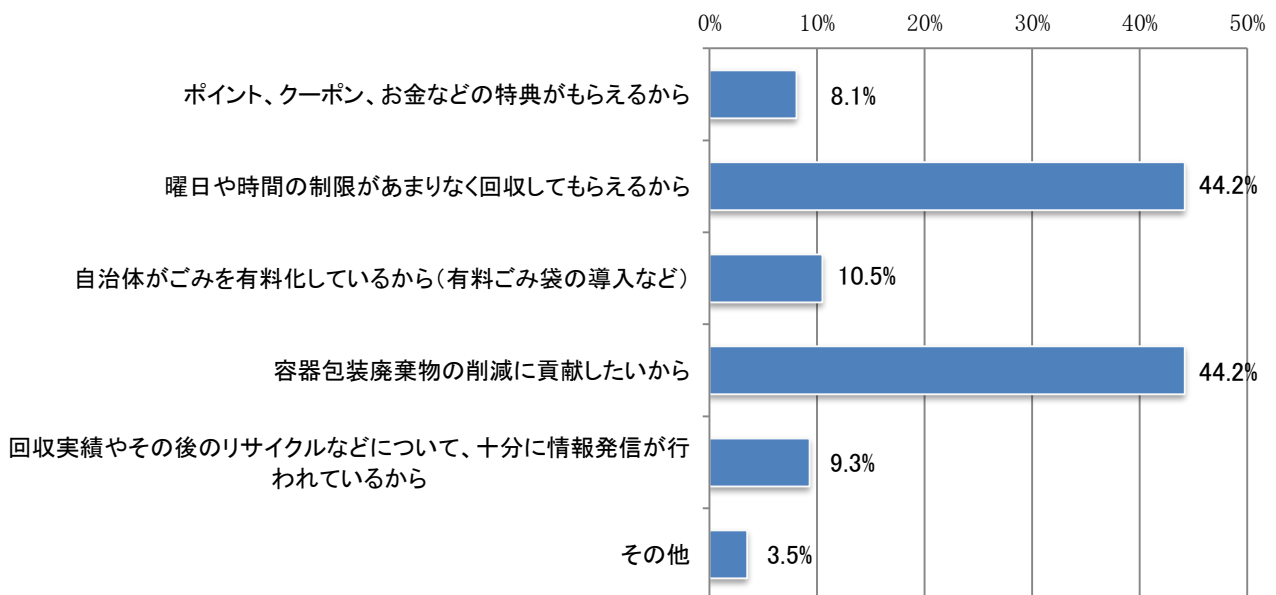
選択肢	人数	%
普及啓発資材(マイバッグ等)の作成・配布	29	33.7
ごみ減量化の普及啓発活動	33	38.4
環境保全(海洋ごみの清掃活動、環境美化活動等)団体への支援	58	67.4
地域社会貢献活動(フードバンク活動等)団体への支援	43	50.0
環境保全活動、地域社会貢献活動に関する最新情報の発信	17	19.8
その他	6	7.0

Q14 容器包装廃棄物削減に向けた取組の1つに、スーパー等での容器包装（食品トレー、ペットボトル、牛乳パック等）の店頭回収があります。
あなたは、店頭回収を利用したことはありますか。（1つのみ）



選択肢	人数	%
利用したことがある	62	72.1
利用したことがない	24	27.9
計	86	100.0

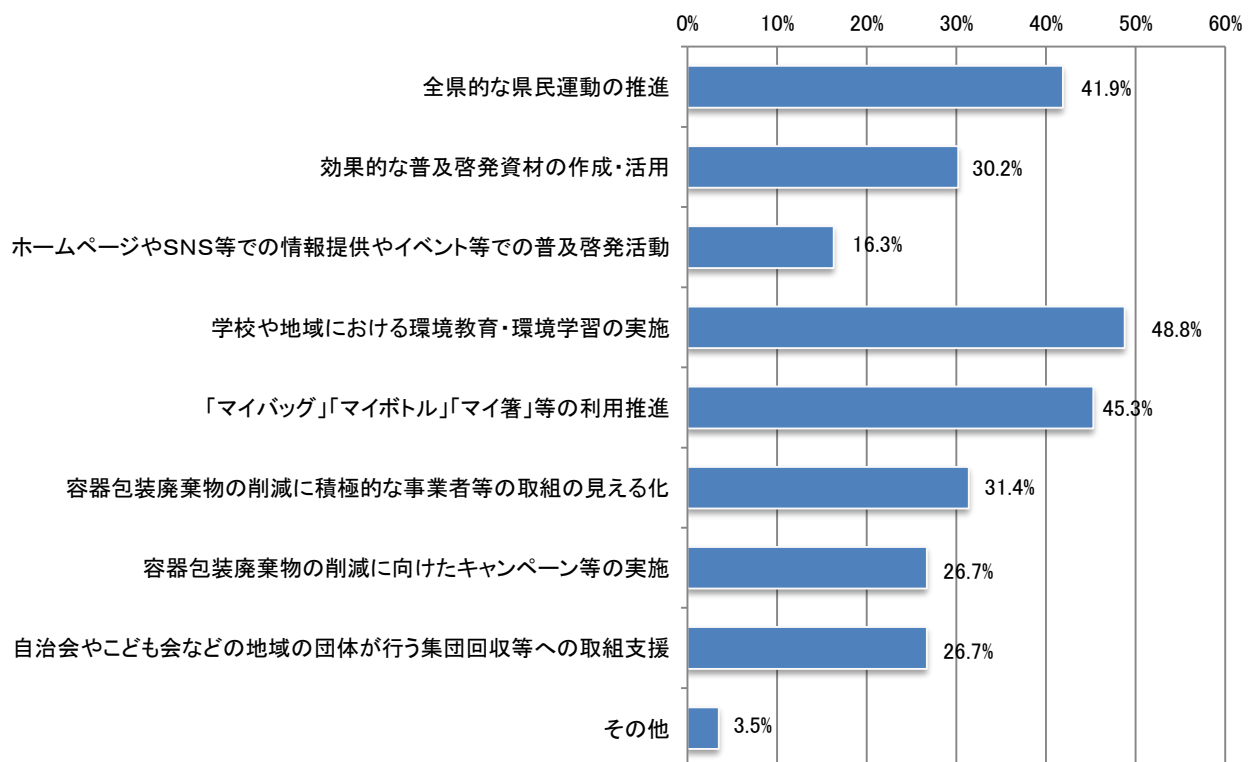
Q15 【Q14で「利用したことがある」と回答した方】
あなたが、店頭回収を利用した理由を教えてください。（いくつでも）



(n = 86)

選択肢	人数	%
ポイント、クーポン、お金などの特典がもらえるから	7	8.1
曜日や時間の制限があまりなく回収してもらえるから	38	44.2
自治体のごみを有料化しているから(有料ごみ袋の導入など)	9	10.5
容器包装廃棄物の削減に貢献したいから	38	44.2
回収実績やその後のリサイクルなどについて、十分に情報発信が行われているから	8	9.3
その他	3	3.5

Q16 今後、容器包装廃棄物削減の取組を推進するうえで、行政が取り組むべきことは何だと思えますか。（3つまで）



(n = 86)

選択肢	人数	%
全県的な県民運動の推進	36	41.9
効果的な普及啓発資材の作成・活用	26	30.2
ホームページやSNS等での情報提供やイベント等での普及啓発活動	14	16.3
学校や地域における環境教育・環境学習の実施	42	48.8
「マイバッグ」「マイボトル」「マイ箸」等の利用推進	39	45.3
容器包装廃棄物の削減に積極的な事業者等の取組の見える化	27	31.4
容器包装廃棄物の削減に向けたキャンペーン等の実施	23	26.7
自治会や子ども会などの地域の団体が行う集団回収等への取組支援	23	26.7
その他	3	3.5

【その他】

Q17 レジ袋の有料化など、容器包装廃棄物の削減に向けた取組に関するご意見・ご要望がありましたら、自由にご記入ください。（全角200字以内）

省略